

ミシシippアカミミガメ
© イワガラガラヘビ



スギナ
© ヒーコT



オツラン © たらぽん



とうこう しゃん しよう
・投稿いただいた写真を使用しています。
しゃん めい へいき
・写真にはユーザー名を併記しています。

みんなで
見つけた!

かわさきの

生き物

ずかん 図鑑

ヤマトオサガニ
© 松田いとゆ



ハクセキレイ
© scissors cicada



ベニシジミ
© イワガラガラヘビ



かわせみ © イワガラガラヘビ



シジュウカラ © イワガラガラヘビ



オウテハ © しばいぬはときたす



春編



ヒガシニホントカゲ
© naturalist58712

キタテハ
© Metron

こうえん りよくち かせん うみ へんか と しぜんかんきよう つ
公園や緑地、河川や海など、変化に富んだ自然環境がぎゅっと詰まったまち、
かわさきし はってん かいほつ すず かわさきし いま さまざま いもの
川崎市。まちは発展し、開発も進みましたが、川崎市には今も様々な生き物が
くらしています。

2025年3月1日から4月30日までの間、市民の皆さんに参加いただき、
生き物調査「アプリで生き物探し！特別クエスト in かわさき ~全国都市緑化
かわさきフェア 春編~」を実施しました。わたしたちの身の回りにはどんな
生き物がいるのでしょうか？さあ、生き物探しに出かけましょう！

生き物クエスト

ちょう さ けっ か 調査結果



生き物調査は、スマートフォンアプリ「Biome (バイオーム)」を活用し、市民の皆さんに川崎市内で見つけた生き物の写真を撮影・投稿いただきました。

～クエスト達成条件～

川崎市で見つけた生き物 **10種類** の写真を撮影・投稿すること

投稿された数
8,515 件



発見した種類
1,677 種類



クエスト達成者数
176 人



※クエスト:(Biomeアプリで期間・場所を指定し生き物調査をおこなう機能)

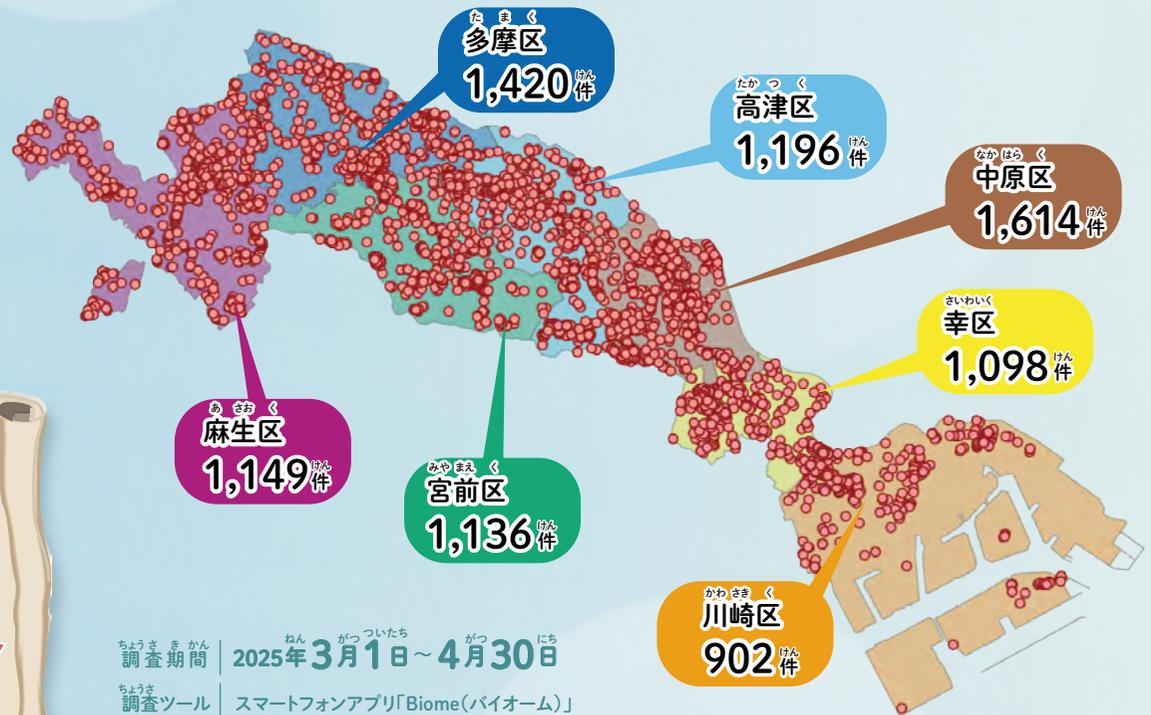
分類別の発見数

分類	発見した数(件)	分類	発見した数(件)
植物の仲間※1	5,460	ネコやタヌキの仲間 (ほ乳類)	111
こん虫の仲間 (昆虫類・クモ類)	1,303	貝の仲間 (軟体動物)	66
鳥の仲間 (鳥類)	726	カニの仲間 (甲殻類)	59
魚の仲間 (魚類)	296	カエルの仲間 (両生類)	46
トカゲの仲間 (は虫類)	184	ミミズの仲間など※2	26

※1 アプリ上の分類群「種子植物」と「その他植物」の合計

※2 アプリ上の分類群「その他動物」

※調査期間中に川崎市全域からアプリ「Biome (バイオーム)」に寄せられた全投稿を集計したものです。
 ※いたずら目的や標本を撮影した投稿、写真の撮影日時が調査期間外である投稿は、「発見した種類」の集計に含まれていません。
 ※種類の判定・登録は一般のアプリユーザーによるもののため、種類数に一部不確かな記録が含まれている可能性があります。
 ※「アリの仲間 (アリ科)」のように、具体的な名前(種名)までは分からなかったものの、どの分類かまでは分かった投稿は「発見した種類」に含まれます。
 ※具体的な名前(種名)も分類も分からなかった投稿(質問投稿)は、「発見した種類」に含まれません。



調査期間 | 2025年3月1日～4月30日
 調査ツール | スマートフォンアプリ「Biome(バイオーム)」

※地図上の点は、調査期間中に川崎市全域からアプリ「Biome (バイオーム)」に寄せられた全投稿の各登録地点を示します。
 ※いたずら目的や標本を撮影した投稿、写真の撮影日時が調査期間外である投稿は、集計に含まれていません。

投稿の多かった生き物ランキング



※調査の結果、1位は「サクラ (栽培品種)」、2位は「ソメイヨシノ」となったため、このランキングでは両者を合わせて「ソメイヨシノ (サクラ)」として表記しています。「ソメイヨシノ」は分類上、「サクラ (栽培品種)」に含まれますが、知名度の高さや投稿のしやすさを考慮し、Biomeでは別種として登録・投稿できるようになっています。



ハナニラ
 春になると白や薄紫色の花を咲かせます。葉をもむとニラのようなにおいがします。



ヒラドツツジ
 大きく鮮やかな花を咲かせるツツジの園芸品種群です。植栽として広く利用されます。

全国都市緑化 かわさきフェア

連携ミッション

挑戦!

全国都市緑化かわさきフェアの会期中(3月22日～4月13日)、
3つのコア会場を対象に、特別なミッションを配信しました。

※ミッション：クエスト達成のための小さな目標や、クエスト達成後もさらに楽しめる要素として設定される機能

～ミッション条件～

フェア開催中(3月22日～4月13日)に3つのコア会場で
生き物の写真を1回以上投稿すること

ミッション達成者数

富士見公園	61人
とどろきりよくち 等々力緑地	61人
いくたりよくち 生田緑地	74人



3

生田緑地

アオオサムシ © kakosaji

生田緑地での投稿には、早春に見頃を迎える草花や、自然豊かな環境で見られる生き物など、里山と都市とのつながりを感じさせる投稿が寄せられました。

投稿された数
654件



ヤブツバキ © Hanya



ハクモクレン © はるはる一

※いたずら目的や標本を撮影した投稿、写真の撮影日時が調査期間外である投稿は含まれていません。



ヒドリガモ © しばいぬはともだち

等々力緑地

投稿された数
220件

等々力緑地にある広大な釣池は、水鳥など多種多様な生き物が見られる場所です。フェアの期間中は「ウォーターガーデン」として開放され、訪れた人々はもちろん、水鳥たちも思い思いにその場を満喫していました。

2



オオバン © Wren



ネモフィラ © かまりんかす

1

富士見公園



ヒヨドリ © Wren

園内ではテーマごとに植栽された多種多様な花が咲き、鮮やかな景色が訪れる人々を楽しませました。園内の花の色や香りに誘われて、多くの生き物たちが集まりました。



キタテハ © Wren



パンジー © 35430

投稿された数
241件

カントウタンポポ



キク目
キク科

はるのほらいろどざいらいしほ
春の野原を彩る在来種
です。花の根元（総苞
片）が反り返らないの
が特徴です。

©てくてくあるく

ハハコグサ



キク目
キク科

はるななき
春の七草として知ら
れ、白い綿毛に覆われ
た葉と小さな黄色い花
をつけます。

©てくてくあるく

アオイスミレ



キンランノ目
スミレ科

ゆきどちよくごつ
雪解け直後の2月～3
月頃という早春に姿を
あらわす。全体に毛が多い
小型のスミレです。

©てくてくあるく

スギナ



トクサ目
トクサ科

はるはるしほ
春に胞子茎の「ツクシ」
を出します。ツクシは
春の山菜として親しま
れています。

© Metron

アオゲラ



キツキ目
キツキ科

にほんこゆうしほ
日本固有種のキツキ
で、頭部の赤色が特徴
です。「ピョー、ピョー」
と鳴きます。

©イワガラガラヘビ

シジュウカラ



スズメ目
シジュウカラ科

みぢかこうえん
身近な公園などで見か
けることができ、白と
黒の顔にネクタイのよ
うに見える黒い模様が
特徴です。

©イワガラガラヘビ

ウグイス



スズメ目
ウグイス科

はるになると「ホーホケ
キョ」と鳴くことで知
られていますが、その
姿を見るのは意外と難
しいです。

© Metron

アズマヒキガエル



無尾目
ヒキガエル科

おもひがしにほん
主に東日本に分布するヒ
キガエルの仲間、乾燥
に強く、住宅地や公園な
ども見られます。

©くま 563

アオダイショウ



ゆうりんもく
有鱗目
ナミヘビ科

にほんさいだいきゆう
日本最大級のヘビの一種
です。毒は無く温厚な性
質で、都会でもよく見ら
れます。

© Metron

ハラビロカマキリ(卵)



カマキリ目
カマキリ科

おおくのカマキリは卵で越
冬し春に孵化します。卵
は木の幹や家の壁などで
よく見られます。

© Metron

みんなで
見つけた！
はる
春が見頃の
生き物たち

はなが咲いたり、さなぎから羽化したり、いろがかわったりなど、生き物たちは四
季に合わせて様々な変化を見せてくれます。春が来て暖かくなると、鮮やかな
花々が咲き、これまでじっとしていた動物たちも姿を見せるようになります。

かわさきの昆虫たち

こんちゅう

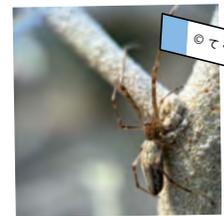
はる 春編

かわさきには様々な昆虫が生息しています。昆虫は枯れ葉などを分解して農業に役立つ良質な土に変えたり、花粉を受粉して植物に果実を实らせたりと、私たちの暮らしに密接に関わっています。見た目やイメージから嫌われてしまうこともあります。同じかわさきに暮らす仲間として生態をよく理解し、共存していくことが大切です。



©Wren

ナミアゲハ
春の公園や庭先でよく見られます。前はねの付け根のしま模様ははっきりしているのが特徴です。



◎てくてくあるく

アシナガグモ
細長い体と非常に長い脚が特徴です。水辺や湿った場所を好みます。



◎いかべー

ナナホシテントウ (幼虫)
成虫の姿とは対照的に、黒くてトゲのあるイモムシのような独特な姿をしています。



◎イワガラガラヘビ

ナガメ
黒と赤の鮮やかな模様を持ち、イヌガラシなどのアブラナ科の植物によく集まります。



◎イワガラガラヘビ

ジャコウアゲハ
黒いはねに赤い模様が特徴です。食草由来の毒を体内に貯め、捕食者から身を守ります。



◎Metron

オオツノカメムシ
両肩に赤く鋭い角を持つカメムシです。成虫で越冬し、春になると活動を始めます。



◎Metron

ツチイナゴ
目の下にある黒い筋模様が特徴です。成虫で冬を越し、春から活動します。



◎イワガラガラヘビ

ナナホシテントウ (成虫)
春になると公園の草むらなどでよく見られます。赤いはねに7つの黒い点*特徴です。



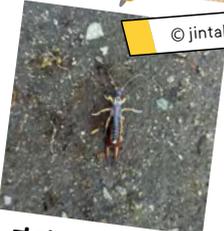
◎カラスウリの実

クビキリギス
成虫のまま越冬し、早春から活動を始め、夜に「ジーー」という音で鳴きます。



◎イワガラガラヘビ

ベニシジミ
春の野原でよく見られる、オレンジ色と黒の模様が鮮やかな小型のチョウです。



◎jintabu

オオハサミムシ
砂地の岩の下などに生息し、尾端の鋭いハサミが力強く発達しています。



◎イワガラガラヘビ

コムスジ
はねに三本の白い筋があり、前はね中央の筋が途切れるのが特徴です。軽やかに滑空するように飛びます。

かわさきの 希少な生き物

はる
春編

かわさし とくく
川崎市の取り組み
市内に生息する希少生物
について詳しくはこちら



かわさきには多様な生き物が生息していますが、絶滅の危機が迫っている生き物も少なくありません。身近に存在する希少な生き物を守っていくためには、一人ひとりが自然を大切にすることを意識を持ち、できることから行動することが重要です。今回の調査で発見された生き物のうち、神奈川県レッドリストに掲載されている生き物を一部紹介します。

神奈川県 レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

ぜつめつ きぐ にるい ぶいゆー ※
※絶滅危惧Ⅱ類(VU): 絶滅の危険が増大している生き物

タマノカンアオイ コショウ目ウマノスズクサ科



© じーく・そら

「日本の植物分類学の父」と言われる牧野富太郎博士が稲田登戸(現在の向ヶ丘遊園駅周辺)で発見した、川崎市にゆかりの深い植物です。丘陵地から山地にかけての林に自生し、春になると地面のすぐ近くに暗紫色の花を咲かせます。近年、大規模な宅地開発により生育地が失われ、現在では絶滅危惧種に指定されています。

神奈川県 レッドリスト 準絶滅危惧 (NT)

じゆんぜつめつ きぐ えぬていー ※
※準絶滅危惧(NT): 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種



© イワガラガラヘビ

キンラン クサスギカズラ目ラン科

こうごうせい
光合成によって葉で栄養分を作り出すことに加え、根に共生する菌類からも多くの栄養を得る植物です。生育環境の悪化や盗掘などにより、神奈川県では準絶滅危惧種に指定されています。

神奈川県 レッドリスト 減少種(繁殖期)

げんしょう しゆ ※ はんしよくき
※減少種: かつては県内に広く分布していたと考えられる種のうち、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種



© scissors cicada

セグロセキレイ スズメ目セキレイ科

かつては河川や池沼で普通に見られた、日本固有種の小鳥です。近年、都市化などの影響により急速な減少傾向にあり、繁殖期のセグロセキレイは、神奈川県において減少種に指定されています。

神奈川県 レッドリスト 注目種(繁殖期)

ちゆうもく しゆ ※ はんしよくき
※注目種: 生息環境が特殊なもののうち、県内における衰退はめだたないが、環境悪化が生じた際には絶滅が危惧される種



© scissors cicada

コチドリ チドリ目チドリ科

春の訪れとともに南国から渡ってくる鳥で、鮮やかな黄色いアイリングが特徴です。繁殖に適した環境の減少等により数が減っていることから、神奈川県において繁殖期のコチドリは注目種とされています。

かわさきの

外来種

の生き物

はる 春編

外来種とは・・・

人の活動によってもともと生息していなかった地域に入ってきた生き物です。種類によっては増えすぎてしまったり、食べ物を奪い合うなど、もともといた生き物を大きく減少させてしまう場合があります。ペットは最後まで責任をもって飼うなど、外来種予防三原則を実践しましょう。

今回の調査で発見された生き物のうち、特に注目したい外来種の生き物を紹介します。



オオカワヂシャ

シソ目オオバコ科

特定外来生物

ヨーロッパからアジア北部を原産とする外来種で、日本では川岸や湿地で見られます。非常に強い繁殖力を持ち、在来種で希少種でもある「カワヂシャ」との交雑や、生息環境の競合が問題となっています。花期は4月から9月で、淡い紫色の花をつけます。

© Metron



ミシシippアカミミガメ

カメ目ヌマガメ科

条件付特定外来生物

北米原産で目の後ろの赤い模様が特徴です。ペットの放流により野生化し、在来のカメを追い出すなど生態系への影響が深刻化しています。現在は「条件付特定外来生物」として、野外への放出や販売が厳しく禁止されています。

© イワガラガラヘビ



アカボシゴマダラ(幼虫)

チョウ目タテハチョウ科

特定外来生物

関東を中心に増えている外来のチョウです。人の手によって放されたと考えられており、在来のチョウの仲間との争いが心配されています。幼虫は背中が4組のトゲのような突起があり、特に3組目が大きいのが特徴です。またおしりの先（腹部先端）が閉じているのも見分けるポイントです。

© Metron



オオシマツヤハナムグリ

(リュウキュウツヤハナムグリ奄美亜種)

コウチュウ目コガネムシ科

もともと南西諸島に生息しているハナムグリの仲間です。現在関東地方を中心に分布を広げています。本来の分布域を超えた拡大の理由として、園芸植物などへの混入の可能性が指摘されていますが、詳しいことは分かっていません。近縁種との競合による生態系への影響が懸念されており、今後も注意深く動向を追っていく必要があります。

© Metron

かわさきの 生き物を 調べてみよう！

かわさき生き物マップ



かわさき
生きものマップ
はこちら



川崎市では、「生物多様性かわさき戦略」の取組の一つとして、市民の皆さんから身近な生き物の情報を募集し、地図情報としてわかりやすく発信する「かわさき生き物マップ」を公開しています。皆さんも身の回りの自然に目を向けて、身近な生き物情報をお寄せください。

みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑

川崎市は、令和6年から7年にかけて実施した「アプリで生き物探し！特別クエストinかわさき」で集められた投稿情報をもとに、電子図鑑「みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑」を作成・公開しています。この電子図鑑には、本書（春編）のほかに夏編と秋編もございます。これらもあわせてご覧いただき、川崎市の豊かな自然をぜひ身近に感じてください。



なつへん
夏編

あきへん
秋編

令和8年3月発行 発行：川崎市
制作：川崎市環境局総務部企画課
監修：株式会社バイオーム